



西東小だより

R4.1.14
第8号
文責 田中

後期後半がはじまりました

新しい年を迎え、後期後半がはじまりました。冬休み中は、子どもたちに対するたくさんのご支援をいただき大変ありがとうございました。学校では、後期後半のはじまりの式で次のことを子どもたちに話しました。

○後期後半は次の学年への準備の期間です。新たな目標を持ち、一つ上の学年の友だちの様子をしっかりと見つめながら、今の自分に必要と思う力をどんどん伸ばしていきましょう。

それから1週間がたちましたが、この期間に行われた計算大会や漢字大会にも真剣にチャレンジしていましたし、授業中も大変落ち着いた学習ができていました。休み時間には、たくさん子どもたちが縄跳びやボールなどを使い運動場で元気よく遊んでいました。とても良いスタートが切れたと感じています。

子どもたちに伝えましたように、後期後半は次学年の準備期間です。学習と生活の両面において現学年のまとめをしっかりと行いながら、次学年での目標が持てるように指導を重ねていきたいと考えています。昨年同様に皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

不審者対応避難訓練

1月13日(木)に熊本北合志警察署のスクールサポーター2人にご協力いただきながら、「児童昇降口から不審者が侵入しようとしており、退去に応じようとせず、危害を加える恐れがある」と想定し、避難訓練を実施しました。訓練の中で児童と職員は主に次のような対応を取りました。



- 不審者対応班は不審者が侵入してきた場所に駆けつけ、教室に侵入しないように取り囲み身体を拘束する。
- 担任は、不審者が校舎内に侵入してきても教室に入れないよう教室のドアと窓の鍵を閉め、児童を避難口に近い方に集め待機させる。教室の中が見えないよう、カーテンを閉めるなど、児童への指導と掌握を行う。
- 管理職は全児童の避難状況を把握しながら避難活動の総括を行う。
- 事務職員は警察等外部との連絡・記録を行う。

昇降口で行われた不審者と職員との実際のやりとりはとてもありリアルに行われました。スクールサポーターからは、「阻止しようとしても理由なく校舎に侵入しようとする者は、犯罪者と見なされます。どうしてそんなことをするのかと言われても遠慮することなく侵入を阻止してください。」と指導いただきました。

訓練を訓練と思わず、「いつ起きてもおかしくない状況である。」という危機意識を常に持っていかねばならないと強く感じました。ご家庭でも「不審者が来たら」という想定で子どもと話し合ってみてください。学校での訓練がより効果的になると思います。

1月のコーチング

★夢実現コーチング★

えがほの法則

わらって! わらって!

わらえば、いいこと

やってくる!

前回号でもお伝えしましたが、心理学では「自分が意識を向けたことが現実化する」と言われています。学校では毎月違った内容を子どもたちに提示しながら子どもたちの意識をプラスにしていく指導を続けています。

冬休みをお願いした「冬休み『夢』実現チェック表」には、子どもたちに向けた保護者の皆様方からの温かいメッセージがたくさん書かれてありました。大変ありがとうございました。

きっと子どもたちはきっと前向きで楽しい冬休みを過ごせたことと思います。今後とも学校でのコーチング効果が倍増していきますよう、子どもたちへの励ましのシャワーをいただきますようお願いいたします。

コロナ感染防止対策の徹底を

最後になりましたが、オミクロン株が大きな力を振るっています。引き続きご家庭でのご指導をお願いいたします。

来週月曜日の予想が難しい状況ですが、今後に備えてタブレットを持ち帰らせます。ご家庭での充電をお願いいたします。今後の変更については随時安心安全メールでお知らせしますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。